

～ 米国から見た証券投資資金の流れ ～

米国から見た証券(株式と社債を含む債券)投資資金の流れを、米財務省の国際証券投資統計(TICデータ)(最新データは2015年4月末)を用いて調べました。主な特徴は以下の通りです。

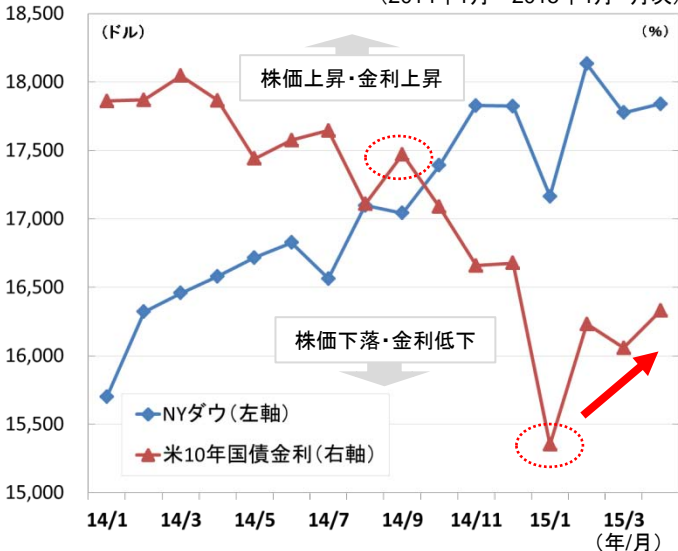
- 1. 2014年9月に世界から米国債券市場へ約1,000億ドルの資金が流入。10年国債金利(月末値)はその後急低下。金利が1.6%台まで低下した今年1月は流出となったが、その後の金利上昇過程で4月まで3ヵ月連続して流入超となっている【図表1、2】。
2. 米国株式市場への世界からの資金流入は、今年3月に約150億ドルの流出超となったが、4月は約3億ドルの流入超に転じている【図表2】。
3. 新興国(※)から米国への資金流入(株式と債券合計)は、今年3月に約135億ドルの流入超となったが、4月は約2億ドルの流出超に転じている【図表3】。
4. 米国から新興国(※)への資金流出(株式と債券合計)は、昨年12月から今年1月にかけて大きく変動した後、足元は落ちついた動きとなっている。今年の3・4月は、2ヵ月連続新興国からの資金流出超となっはいるが規模は相対的に小さく、米利上げ観測を背景とする新興国からの資金回帰は生じていないように思われる【図表4】。

(※)以下(計11カ国)の合計値

中国、ブラジル、ロシア、インド、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、トルコ、メキシコ、南アフリカ

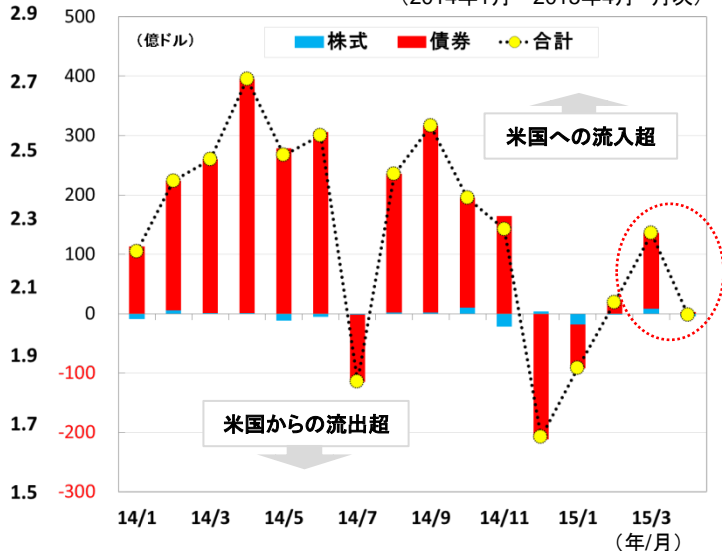
図表1: NYダウと米国10年金利

(2014年1月～2015年4月 月次)



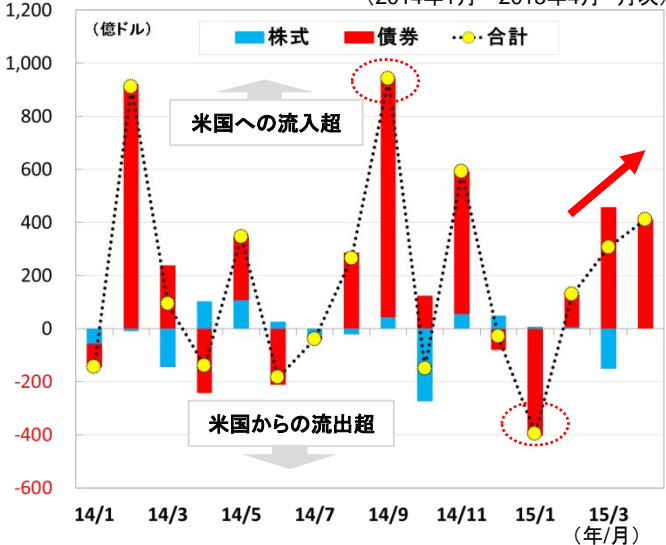
図表3: 新興国から米国への資金流入(ネット)

(2014年1月～2015年4月 月次)



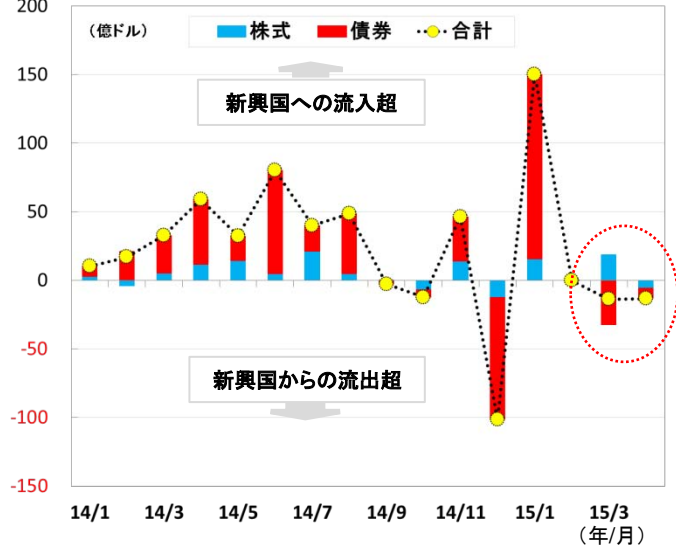
図表2: 世界から米国への資金流入(ネット)

(2014年1月～2015年4月 月次)



図表4: 米国から新興国への資金流入(ネット)

(2014年1月～2015年4月 月次)



出所: 図表1はブルームバーグデータ、図表2～4は米財務省データ(TICデータ)を基にニッセイアセットマネジメントが作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 (審査確認番号H27-TB37)